

製造事業所の皆さんへ

12月31日を基準日として「工業統計調査」を実施します これからのまちづくりを考える基礎になります 調査へのご協力をお願いします



工業統計調査は、製造業を営む事業所を対象として、その活動実績を明らかにすることを目的としています。

調査結果は、国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として利用されるとともに、企業・大学などでの研究資料、小・中・高等学校の教材など、幅広く活用されています。

皆さんから提出していただく調査票については、統計法に基づき、内容の秘密が厳守されますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



日野町の工業統計調査結果の概要（従業者4人以上の事業所）

調査年	従業者数	製造品出荷額等
平成17年	3,818人	2,040億円
平成18年	4,292人	2,431億円
平成19年（速報値）	4,461人	2,845億円

経済産業省・滋賀県・日野町（◆問い合わせ先 企画振興課 企画人権担当 ☎6552 有線68963）

綿向雑感

日野町長 藤澤直広

ふるさとの山

綿向山を含む鈴鹿山系が国定公園に指定されて今年で40年になります。今年も「綿向山の日」に登頂しました。眼下にひろがる

眺めはどこまでもすばらしく「山は鈴鹿よ湖なら琵琶湖、なかに花咲く米どころ」と日野の町を歌う「日野小唄」の一節が口をついて出ました。「日野小唄」は今年の夏、にしの朱里^{あかり}さんの歌でCD化され車に乗るたび聞いています。日野出身の方がこのCDを聞いたび「ふるさとが日野でよかったと思う」と言ってくれました。「ふるさとの温かさ」は「変わらないうで欲しい」ものなのでしょうね。

「変わって欲しい」という大きな願いもあります。アメリカではチェンジ（変革）を訴えてオバマ氏が大統領選挙に圧勝し、来年1月20日から第44代大統領に就任します。黒人アレルギーがあるといわれるなかで、黒人の大統領が選ばれたことは、それだけ大きな期

待があるということだと思えます。イラク戦争やアフガン戦争など「力の外交」によって戦争をする国からのチェンジ、貧富の膨大な格差が存在する社会からのチェンジ、金融危機に現れた異常な経済システムからのチェンジなど喫緊の課題がたくさんあると思います。これまでの「強いもの勝ち」「市場原理一辺倒」などの風潮をチェンジし、国内的にも国際的にも融和と協調の政策がすすめられることが期待されていると思います。

日本でも、安心して暮らせる温かい社会へのチェンジが求められています。麻生内閣ができてすぐにも衆議院選挙があるといわれながら今に至っています。医療体制の不備により妊婦さんの相次ぐ死亡、「金融危機」による景気悪化に伴う中小企業の倒産、新規採用者の内定の取消しなど社会不安が広がっています。「給付金を配る」だとか「高速料金を安くする」だとか、にわかづくりの「政策」よりも、福祉、医療、教育の分野など真に国民の暮らしを応援する政策にチェンジすることが求められていると思います。